

1. 活動日時

令和4年8月11日（木）7:30-17:30

2. 活動場所

福井県南条郡南越前町鹿蒜地区大桐、河野地区赤萩

3. 被害状況

大橋の崩落により孤立地区となっていた大桐では、迂回路が完成し車にて向かうことが可能となった。また、JR北陸本線が再開し、北陸道（上り）の通行止め区間も解消された。

4. 活動の実際

- 7:30 南越前町今庄事務駐車場（ボランティアバスセンター）に集合。テントや洗い場の設置を行い、8:30からのボランティアバス受け入れに向けた準備を行う。
- 7:55 ボランティアバス到着。バス毎に担当を決め、ボランティアに本日の流れと注意点についてオリエンテーションを実施する。
- 10:50 旧今庄中学校に移動し、巡回場所の地図の確認と巡回方法のミーティングを実施。酒井・花房・酒井彰・作川は、河野地区赤萩へ移動。
- 11:10 河野地区赤萩着。区長宅に伺い、状況を確認。連日の復旧作業により、疲労がたまっている状況であり、地区として本日の午後より復旧作業は休みにするとのこと。昼食の時間にかけて飲料水を取りに集会所に住民が集まるとのことで、集会所にて健康観察を実施。
- 13:00 旧今庄中学校に戻り、健康観察の結果と地区の状況を保健師に報告。
- 13:40 鹿蒜地区大桐の道路状況の確認を行うために移動。仮設道路が開通しており、車での通行可能。そのまま大桐まで移動する。
- 14:20 大桐着。区長に挨拶を行い、状況確認。復旧作業にあっていた3名の住民の健康観察を実施。
- 15:10 ボランティアバスセンターに移動。作業を終了したボランティアの誘導、飲料水の配布を行う。
- 17:00 ボランティアバスセンターでの業務を終了し、旧今庄中学校に移動。午後に巡回した地区の状況と健康観察の結果を保健師に報告。
- 17:30 明日の打ち合わせを行い活動終了。

5. 健康上の問題・課題

<河野地区赤萩>

午前の活動後に具合が悪くなった住民より訪問要請あり。顔が火照り軽度のめまいあり。熱中症疑いのため氷嚢にて両脇を冷やし、OS1と塩飴を摂取してもらう。数分後に症状は改善し、座位にてOS1を飲むことができたため、休息と水分・塩分補給をこまめに行ってもらうように説明し訪問を終了した。

そのほか、重機の資格がある高齢男性からは、交代要員がいないため、なかなか休むことができず疲れがとれないという訴えや、集会所にて炊き出しを行っている高齢女性は、夜になっても明日のことを考えてしまい眠りが浅くすぐに目覚めてしまうという訴えがあった。両者とも自宅の被害は無かったが、被害がないからこそ働かなければならないと話されていた。

<鹿蒜地区大桐>

明らかな高血圧がある住民はいなかったが、連日の作業により疲労がみられていた。迂回路の完成により給水車が入ることができ、またボランティアも少数ではあるが入ることができていた。復旧作業はこれから本格化していくが、5日間支援が滞ったことにより災害急性期の状態が続いているため、住民の健康状態の観察が特に必要あると思われる。

6. 所感

連日の快晴により道路も乾いてきており粉塵が舞う状態である。30°Cを超える真夏日であるため、マスクでの作業が非常に辛い状況である。連日、自宅被害のなかった方から、被害にあわなかったことによる引け目を感じる発言がみられ、休息を十分に取らずに支援を続けている現状があった。水害は、地区内で被害がはっきりと分けられてしまう。被害があった地区全体を見渡し、被害を受けた方のみならず、被害がなかった住民も気にかけていく必要がある。

また、本日は、ボランティアの受付を開始してから初めて祝日であり、約500名のボランティアが参加した。ボランティアは約10人のグループに分かれ活動を行った。グループには、リーダーのほかに、タイムキーパーの役割を設け、30分の活動時間と15分の休息時間を必ず守るように徹底されていた。泥かきの重労働では15分の作業時間で限界を迎えてしまい、15分サイクルで休息をとるグループも見られた。ボランティアはお盆にかけて増加が見込まれるため、今後もボランティアへの健康管理も必要である。

JR北陸線の再開、高速道路の一部開通、孤立地区の解消により、人的・物的資源も整いつつある。復興に向けて次の段階に移行してきており、先遣隊活動の終了も時期を検討する。

